



### 親御さんにお聞きします (回答数 16 人)

#### 今日参加しての感想や心に残ったこと(お話など)を教えてください

- 学長が、「目標が同じ仲間と勉強できる環境に進学するのがよい」というお話をされたことが印象的でした。今回参加しているような目標を持つ中学生にとっては、進学先選定の目安になると思います。
- 生涯勉強だと聞き少し心配になりましたが、苦手教科をつくらないようにし、部活も頑張り体力をつけさせたいです。
- 医療に対する熱意がないと続けられない勉強量だと思いました。
- 学長さんが、1日2~3時間勉強していることに、驚きました。
- 子供の将来の選択肢が広まったので、参加して良かったと思います。
- 親子で同じ話を共有でき、良かったです。医療スタッフにとって大切なこと、そのために今できることの説明が分かりやすく良かったです。
- デジタル技術を用いての手術の練習ができることで、執刀医のレベルアップが図れるし、和漢の抗がん剤による副作用軽減に期待します。
- 具体的なお話を聞けたので良かったです。
- 富山大学の良さが伝わりました。
- 貴重なお話ありがとうございました。
- 今日のチーム医療は様々な役割の方々の連携で成り立っていることが理解できました。
- 世の中には直接接することがない職業がたくさんあること、子ども自身がどこに興味を持つのか親として寄り添って話を聞いていきたいと思いました。
- 先生や先輩方の中学時代から現在に至るまでの話は、人それぞれ違うけど、勉強とスポーツや趣味にon/offやメリハリを付けて過ごされてきたということが分かり、これからの娘の生活に注意を払ってほしいと思いました。自分が今感じている「学生時代にもっと勉強すれば良かった」という後悔を、娘がしないように口酸っぱくなるほど伝えていきたいです。
- 医療は発展し続ける分野ということで、今も日々勉強されているという話で、仕事しながらというのは正直大変だと思うのですが、「しなきゃいけない」とお話をしていたのが少し気になりました。趣味や自分が好きなことなら進んで調べるものだと思うので、「しなきゃいけない」ではなく、いろいろなことに興味を持つことを大事にすることを伝えていければと思いました。(言ってる自分も出来てはいませんが)

- 子どもが2番目に質問していたことにもしっかりと受け答えしていただき良かったです。また、帰り際に積極的に学生や先生方に質問し、納得していました。
- 子供に緊張感が出てきました。医学部へのイメージが出来たようで良かったです。
- 学生さんのしっかりとした会話が印象深かったです。
- 学生さんの話が丁寧で落ち着いたのが素敵でした。

#### 運営・企画など、全体を通じて良かった点、改善すべきと思われる点があれば自由にお書きください

- 全員に発言の機会を与えていただき、ありがとうございました。
- 車いすに対するご配慮、ありがとうございました。
- 椅子の座り心地が悪く、そして狭かったのが気になりました。他は現場の声などが聞けて有意義な時間を過ごせたので良かったです。
- 今日話された方全員が話が上手く、聞きやすかったです。できればですが、施設内も見学が良かったです。
- 進行の仕方が上手だと思いました。
- 子供達が質問しやすい配慮があり、良かったと思います。次回は他の学部のお話も伺いたいです。
- 大人も一緒に参加して話を聞く事で、子どもと話をすることができました。
- 大人も学べる内容でした。
- 他の学部でもこのような企画があれば面白いと思います。

#### 参加記念に、集合写真をプレゼントさせていただきました



1グループ



2グループ



令和4年度 富山大学杉谷キャンパス 中大連携企画



報告書 2022.12.4 [Sun.]

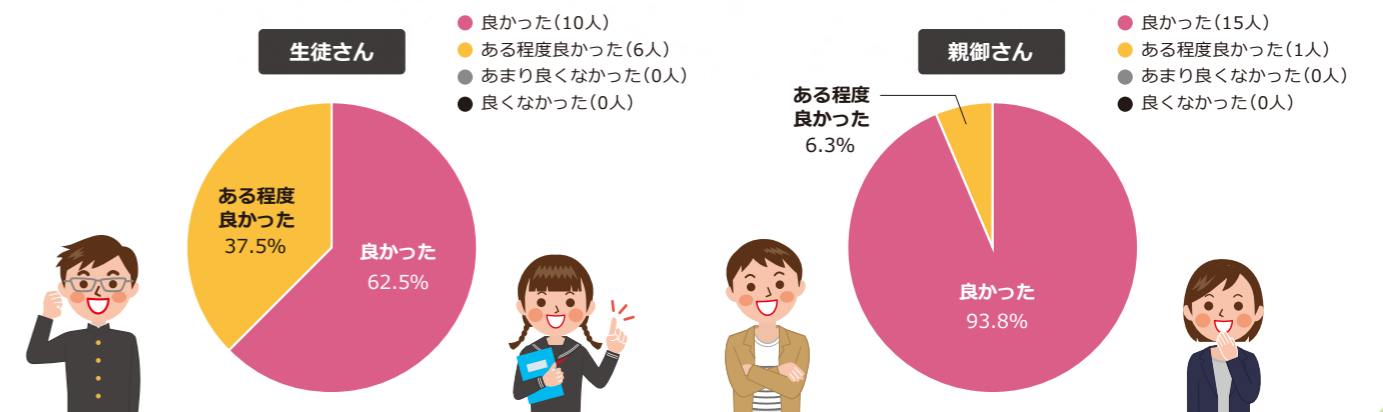


#### 参加者 21組 (生徒及び保護者)

- ◆ 富山市 (19組)
- ◆ 氷見市 (2組)

#### 参加者アンケート (回答数 16 組)

今回の「親子で将来を見つめよう！」イベントに参加して良かったですか



# 大学？先のはなし？ 今から考えて準備すれば 将来の夢、一歩近づくよ

12月4日(日)、富山大学杉谷キャンパスにおいて、県内の中学生と保護者を招き「第2回富山大学の医薬系キャンパスで 親子で将来を見つめよう」が開催されました。

この日は、生徒と保護者計42名が参加し、齋藤学長や医学部、薬学部、和漢医薬学総合研究所の教員と医学部、薬学部学生とが懇談を通し、最新の医療やくすりについて理解を深め、親子で将来の進路についても考える機会となりました。

## 学長講話

産婦人科としての経験を通し「これからの医療のあり方」と題して講演。現在の医療では、精神的なケアを含むトータルな医療が求められており、1人のスーパードクターではなく、最高の医療を提供するチーム医療の時代となっていることを紹介。中学生の今から、多くの友人をつくり、その中でチームワークとコミュニケーション能力を身につけ、未来の医療人に育てて欲しいと熱いエールが送られました。



<スケジュール>

13:00~13:02	開会
13:02~13:05	開会挨拶 細谷副学長
13:05~13:35	学長講話
13:35~14:10	学長と語り合おう
14:10~14:20	休憩
14:20~14:30	富山大学紹介ムービー上映
14:30~16:00	「医療とくすり、その他なんでも聞いてみよう」タイム
16:00~16:10	全体振り返り 学長
16:10~16:15	事務連絡
16:15~16:30	記念撮影(2グループ別) 解散

## 学長と語り合おう

中学生から「医療の現場では、体力が求められると言われたが、学長はどんなスポーツをしていたのか」などの質問が寄せられ、自らの中学生時代には、体育祭や学校行事など積極的に取り組んだことが紹介されました。また、医学部を目指す上で、クラス内に同じ目標を持つ仲間がいたことを通し、進学先を選ぶ上でアドバイスをもらいました。



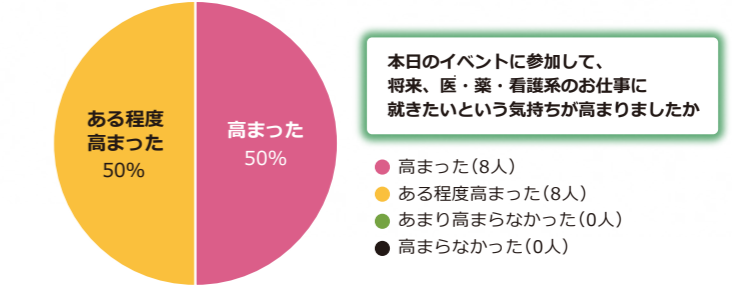
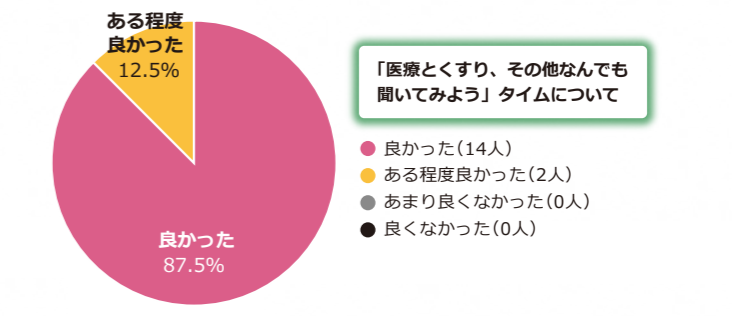
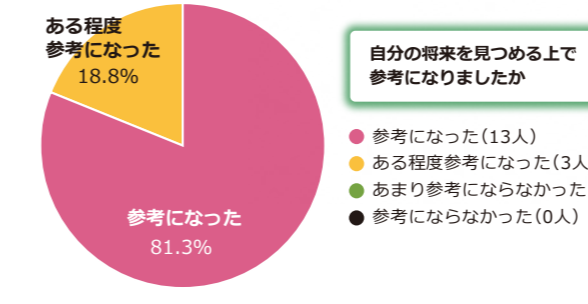
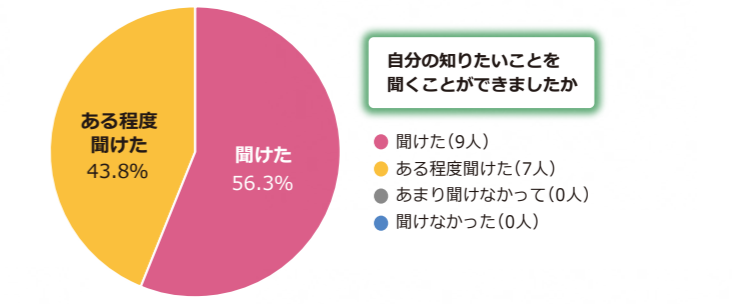
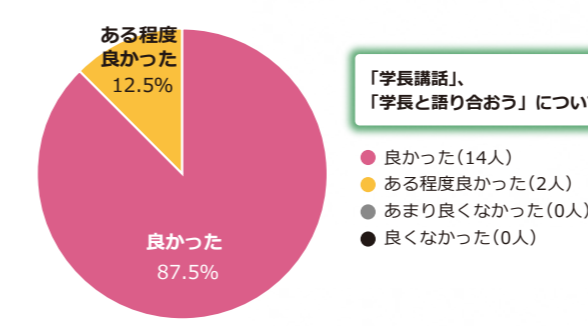
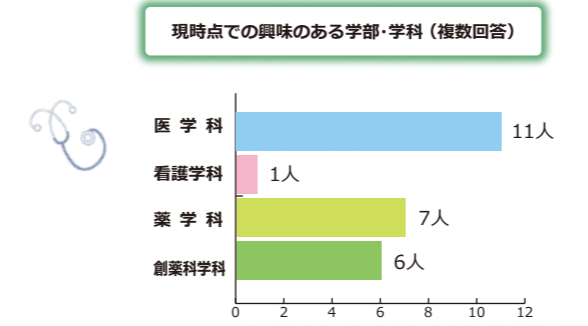
## 「医療とくすり、その他なんでも聞いてみよう」タイム



ファシリテーターを酒井薬学部長が担当し、パネリストには、木戸診療助手(附属病院)、笹野准教授(看護学科)、沖津准教授(薬学部)、薄田助教(和漢医薬学総合研究所)と医・薬学部の学生4名が登場しました。和やかな雰囲気の中、医療人を目指した動機や勉強の方法や時間数など、参加した生徒全員から質問が寄せられ、先輩たちからの経験に基づく話に終始真剣な面持ちで聞き入っていました。この日は、大学紹介ムービーも上映され、富山大学9学部の特色が紹介されました。終了後は、参加した親子と大学スタッフ全員が、2グループに分かれて記念写真に納まりました。



## 生徒のみなさん お聞きします (回答数 16 人)



### 今日参加しての感想や心に残ったこと(お話など)を教えてください

- 苦手科目を諦めないようにしたいと思いました。
- 富山大学の杉谷キャンパスに初めて行きました。和漢研究所について知りすぎ！と思いました。医・薬・看のチーム医療について詳しくわかるようになりました。患者さんの心に寄り添う医療が大事だと分かりました。ゲノム医療や再生医療、病気にならないようにする医療について興味がありました。これから勉強がんばります。部活も頑張るで体力をつけます。
- 今まで、理科とか数学だけが必要なのだと思っていましたが、5教科全てに加えて、体力まで必要だと分かり、これから頑張ろうと思いました。
- 実際に医学生の方の話を聞けたことや直接質問したり会話したり出来たことが良かったです。
- 20世紀と21世紀では大きく医療が変わったことに驚きました。特に、個人プレーからチーム医療が変わったのがすごく印象的でした。
- 医療スタッフにとって大切なことのお話が心に残りました。
- 医者には体力が必要ということが分かりました。

- 勉強面以外にも、体力や気持ちの面も医学に必要なということを知ることができました。
- 仕事を決めるにあたって大切なことを聞くことができ、色々なことを学ぶことができたので、これからの日常生活に少しでも生かしていけるようにしていきたいと思いました。
- 中学2年生の時点でもう将来の職業を決めている方もおられたので、私もそうなれるように、仕事についてより学んでいきます。
- 困っている人を助けたり、人の役に立ち、求められる仕事はとても素晴らしいと思いました。
- 実際に医学、薬学に関わっている人のお話を聞くことができ、今よりもさらに興味を持つことができ、とてもいい機会になりました。
- 経験に基づいた学生さんの話に、医薬系の良さや、通常では聞けない夢へ進むためのアドバイスなどをたくさん聞くことができて良かったです。
- 現在、運動部ではないので体力が心配になりました。
- 生涯学習が必要という話です。
- 壇上の講師に質問する形式ではなく、小グループに分かれて講師とフリートークの形式の方が中学生にはよかったですと思います。